

1 家庭科における教育課程上の課題と指導上の留意事項

(1) 2学年間を見通した指導計画の作成

- ① 家庭科で育てたい児童の姿の明確化
- ② 2年間の大まかな指導の流れ（ストーリー）を考慮した題材配列
 - ・ 学習効果を高めるために2学年にわたっての題材を配列する。
 - B(3)「調理の基礎」、C(3)「生活に役立つ物の製作」は平易なものから段階的に扱う。
- ③ 指導内容の関連を図って題材を構成する。
 - ・ A(1)アは、ガイダンスとして扱う。その他にA～D内容と関連を図って扱う。
 - ・ DはA, B, Cの内容と関連を図る。
- ④ 各題材に適切な時間を配分する。
- ⑤ 指導すべき内容に漏れがないかどうかを確認する。

(2) 基礎的・基本的な知識及び技能の明確化

小・中学校の接続 → 小学校指導することは、どのようなことであるのか。

(3) 実践的・体験的な活動、問題解決的な学習の一層の重視：言語活動の充実

(4) 指導と評価の計画

- ① 学習目標，評価規準，評価方法の一体化
- ② A(1)アの評価
- ③ 「生活を創意工夫する能力」（生活をよりよくしようと工夫する能力）

思考力	：	<u>身近な課題を様々な角度から考える</u>
判断力	：	<u>考えたことを基に課題の解決を図る</u>
表現力	：	<u>自らの考えを的確に表す</u>

言語活動の充実

※ 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料」などを参考に

(5) 家庭との連携

(6) 教育環境の整備

- ① 計画的な整備，安全の確保
 - ・ 熱源，用具，機械などの扱い方や用具の配置の仕方，食品等の安全で衛生的な取扱い。
 - ・ 小学校での調理は，生の魚や肉は扱わない。卵を用いる場合は，新鮮であることを確認し，加熱調理する。

2 家庭科における言語活動の充実

(1) 言語活動の充実

(小学校学習指導要領 家庭編より)

衣食住など生活の様々な言葉を実感を伴って理解する学習活動や，自分の生活における課題を解決するために言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり，説明したりするなどの学習活動を充実する。

- ① 言語活動の位置付け
 - ・ 実践的・体験的な学習を通して，知識・技能を活用して生活の課題を解決する能力を高くむ視点を重視
- ② 学習指導案への明確な位置付け
 - ・ 本時に位置付ける話合いがどのような特徴をもつのかを明確にする。
 - ・ 本時のねらいが言語活動を通じてどう実現されたかを評価する。
 - ・ 児童に付けたい力を明確にする。
- ③ 生活の様々な言葉を実感を伴って理解する学習活動

家庭生活	団らん, 触れ合い, 家庭生活を支える, お茶のこさ, <u>湯を注ぐ</u> , 収入, 支出, つながり, 生活環境, 共に生きる など
日常の食事・調理	健康, 身支度, 栄養素, バランス, 火の通り, <u>かさ</u> , だし, すり切り, <u>沸とう</u> , ゆでる, 炒める, 流水, 振り洗い, <u>塩加減</u> など
衣服の手入れ・製作	手入れ, 着方, 布のみみ, 布目, 布はし, もみ洗い, ほころび, <u>布を裁つ</u> , しつけ, しごく, 縫い合わせ, 縫いとり, 一重 など
住まい方	快適, 分別, 処理, はたく, はく, 採光, 照明, 風通し など
環境消費	表示, 賞味期限, 消費期限, 品質表示, マーク, リサイクル, リフォーム, リユース など

④言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり, 説明したりするなどの学習活動

(2) 授業づくりのポイント

- ① 目標の明確化 (育てる資質・能力を明確にする。)
- ② 題材構成を工夫, 学習構成を工夫, 言語活動の充実
 - ・ 実践的・体験的な学習活動の充実
 - ・ 問題解決的な学習活動の工夫: 「生活を創意工夫する能力」
 - ・ 考えた過程がわかるようにレポート等の記入欄を工夫する。
 - ア 学習課題の明確化: 身に付けさせたいことの視点を確認
 - イ 観察し, 気付いたこと, 疑問に思ったこと, 感じ取ったこと, 考えたことなどを自分の言葉で表現できるようなワークシートなどの工夫
 - ウ グループやペアで互いの考えを深める話合い, 再度ワークシートにまとめる活動
 - エ グループで話し合ったことを言葉や絵, 図表を用いてまとめは発表し合い, 教師と子どもで確認しながら自分たちの言葉でまとめる。

(3) 評価の観点

- ① 言語活動と評価の観点
 - ・生活を創意工夫する能力 (思考力・判断力・表現力)
 - ・身に付けた知識や技術を活用して生活をよりよくしようとする。(過程を含めて評価)
 - (例) 製作や調理については, 製作品などにみられる工夫とともに, その過程での思考や工夫についても評価することが大切である。
- ② 評価規準の作成, 評価方法等の工夫改善のための参考資料の活用

(4) 消費者教育の推進

- ① 「消費者教育の推進に関する法律」(平成24年12月施行)に基づき, 消費者教育の総合的かつ一体的な推進を目的とし, 基本方針を策定(平成25年6月28日閣議決定)
- ② 学校教育法において新学習指導要領に基づき, 社会科, 公民科, 家庭科, 技術・家庭科などを中心に, 消費者教育を実施(各教科との関連・連携を図ること)

3 参考となる資料等

- ・「評価規準の作成, 評価方法等の工夫改善のための参考資料」(平成23年11月国立教育政策研究所教育課程研究センター)
- ・初等教育資料 家庭科における言語活動(平成23年7月号, 平成25年7月号)
- ・「言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】」(平成23年10月文部科学省)